

人文社会科学部 国際日本研究専攻（博士後期課程）

2015年度以降入学者

専攻共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMA01	プロジェクト演習3	2	1.0	1	通年	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員（複数）との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA02	プロジェクト演習4	2	1.0	2	通年	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員（複数）との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA03	リサーチ・プログラム開発入門 (RPDC) 1	2	2.0	1	春AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	自らの研究テーマに関して指導教員（複数）が望ましい）、学位プログラム代表者（サブ、カリキュラム責任者を含む）の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者（サブ、カリキュラム責任者を含む）に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者（これも事前に承諾がある）が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者（サブ、カリキュラム責任者を含む）の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員（複数）が望ましい）、学位プログラム代表者（サブ、カリキュラム責任者を含む）、専攻長の承諾がある。本講義・演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本（学会発表等）についても学ぶ。	
02DMA04	大学院博士入門演習	2	1.0	1	春AB	応談		国際日本研究専攻 全教員	受講者は論文の執筆方法、文献の引用の仕方、研究者としての倫理・モラル（絶対に無断引用しないなど）等について基本的な事項を学んだ上で、自らの研究テーマをどのように選び、深めていけばよいか、そのことで学会や実社会にどのように貢献するか、講義、発表等を通じて学習していく。	

専門基礎科目（新国日後期）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMB01	フェロー・リサーチ2	1	1.0	1・2	秋AB	応談			国内外の幅広い領域・業種において活躍している研究者や実務者から研究や現実社会の動きなどについて最先端の情報を学ぶ。それによって受講生の研究テーマをどう深め、理論と実務をどのように融合していくべきかなどについて講義や討議を通じて自分の力で考えられるようにしていく。	01DR035と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
ディシプリン共通科目(新国日後期)										
02DMC01	リサーチ・プログラム開発9		2	2.0	1	春AB		国際日本研究専攻全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などをばば広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がいる)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものではなくてはならない。	
02DMC02	リサーチ・プログラム開発10		2	2.0	1	秋AB		国際日本研究専攻全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などをばば広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がいる)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものではなくてはならない。	
02DMC03	リサーチ・プログラム開発11		2	2.0	2	春AB		国際日本研究専攻全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などをばば広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がいる)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものではなくてはならない。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC04	リサーチ・プログラム開発12	2	2.0	2	秋AB	応談		国際日本研究専攻全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。許可があれば、同一の研究テーマで複数の「リサーチ・プログラム開発」授業・演習を履修することができるが、「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートはそれぞれ別のものでなくてはならない。	

リサーチ・プログラム開発

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMD01	リサーチ・プログラム開発複合3	2	2.0	1	春AB	応談			複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMD02	リサーチ・プログラム開発複合4	2	2.0	2	秋AB	応談			複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などは幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がいる)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)

国際日本社会科学学位プログラム(新国日後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DME01	グローバル日本政治(市民社会)3A	2	1.0	1-3	春AB	金5		辻中 豊	日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 O2DJ135, O2DM103, O2DMK08, O2DMP02, O2DMQ01と同一。
O2DME02	グローバル日本政治(市民社会)3B	2	1.0	1-3					日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	O2DJ136, O2DMQ02と同一。 2015年度開講せず。
O2DME03	グローバル日本政治(国際政治)2	2	1.0	1	秋BC	火6			第二次大戦後の日本の対外政策の展開を、東アジアの国際関係の変動との関連で講義を行う。適宜、重要なトピックスについて教材を配布する。	教室:プロジェクト研究棟波多野研究室 O2DMK11と同一。
O2DME04	グローバル日本政治(対外関係)3A	2	1.0	1-3	秋AB	火5	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 O2DJ370, O2DMK12, O2DMP07, O2DMQ31と同一。
O2DME05	グローバル日本政治(対外関係)3B	2	1.0	1-3	秋AB	火6	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 O2DJ371, O2DMK13, O2DMP08, O2DMQ32と同一。
O2DME06	グローバルガバナンス(国際関係論)3A	2	1.0	1	春AB	木5		大友 貴史	The aim of this course is to study the main theories of international relations.	教室:共同研究棟A601 西暦奇数年度開講。 O2DMQ33と同一。 英語で授業。
O2DME07	グローバルガバナンス(国際関係論)3B	2	1.0	1					The aim of this course is to study the main theories of international relations.	O2DMQ34と同一。 英語で授業。 2015年度開講せず。
O2DME08	グローバルガバナンス(政治とディスコース)2A	2	1.0	1					国際社会における言語や言説の影響と政治との関係性について考察する。	O2DMK07と同一。 2015年度開講せず。
O2DME09	グローバルガバナンス(政治とディスコース)2B	2	1.0	1					国際社会における言語や言説の影響と政治との関係性について考察する。	O2DMP13と同一。 2015年度開講せず。
O2DME10	グローバル社会と日本(国際情報社会論)1A	2	1.0	1	春AB	金3		川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	教室:8A107 西暦奇数年度開講。 O2DMQ27と同一。 英語で授業。
O2DME11	グローバル社会と日本(国際情報社会論)1B	2	1.0	1	春AB	金4		川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	教室:8A107 西暦奇数年度開講。 O2DMQ28と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DME12	グローバル社会と日本(国際情報社会論)2A	1	1.0	1	春AB	水2		川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 O2DMP15と同一。 英語で授業。
O2DME13	グローバル社会と日本(国際情報社会論)2B	1	1.0	1	秋AB	水2		川崎 レスリー タック	This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (O2DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 O2DMP16と同一。 英語で授業。
O2DME14	日本社会と計量分析2A	1	1.0	1	春AB	月5		崔 宰栄	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、分析データの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計や使い方について講義する。計量分析の概要、基礎集計(度数分布)、記述統計(代表値、散布度)など統計の基本を理解し、日本社会と計量分析2Bを勉強するための土台作りを行う。	
O2DME15	日本社会と計量分析2B	1	1.0	1	春AB	木5		崔 宰栄	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、分析データの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計や使い方について講義する。そのため、日本社会と計量分析2Aで学んだ知識(基礎集計、記述統計)を土台とし、関連分析(相関分析、回帰分析)を中心とした、計量分析の入門的な概念を理解し、発展させる。	
O2DME16	日本社会と計量分析演習2A	2	1.0	1	春AB	月6		崔 宰栄	統計分析用ソフトSPSSを使用して、計量分析に要する一連の分析プロセスを学ぶ。本授業では、SPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を学び、日本社会と計量分析演習2Bでの高度な分析を行うための土台作りを行う。	
O2DME17	日本社会と計量分析演習2B	2	1.0	1	春AB	木6		崔 宰栄	統計分析用ソフトを使用して、計量分析に要する一連の分析プロセスを学ぶ。本授業では、日本社会と計量分析演習2Aで学んだSPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を土台とし、高度な分析を行う。	
O2DME18	グローバル経済論(世界経済史)3A	2	1.0	1	春AB	水5		田中 洋子	参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。	教室:図書館セミナー室 西暦奇数年度開講。 O2DM161, O2DMQ19と同一。
O2DME19	グローバル経済論(世界経済史)3B	2	1.0	1	春C	集中		田中 洋子	各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	教室:図書館セミナー室 西暦奇数年度開講。 O2DM162, O2DMQ20と同一。
O2DME20	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5A	2	1.0	1	春AB	木4		高橋 秀直	金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦奇数年度開講。
O2DME21	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5B	2	1.0	1	秋AB	火4		高橋 秀直	金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	西暦奇数年度開講。
O2DME22	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6A	2	1.0	1					金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	2015年度開講せず。
O2DME23	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6B	2	1.0	1					金融の長期的発展を通じて、日本社会とグローバル社会の関わりを検討する。	2015年度開講せず。
O2DME24	日本社会と公共経済5A	2	1.0	1	春AB	木2		仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。
O2DME25	日本社会と公共経済5B	2	1.0	1	秋AB	木2		仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。
O2DME26	日本社会と公共経済6A	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	2015年度開講せず。
O2DME27	日本社会と公共経済6B	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	2015年度開講せず。
O2DME28	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1A	2	1.0	1	春AB	木4		平沢 照雄	1930年代以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DME29	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1B	2	1.0	1	秋AB	木4		平沢 照雄	第2次世界大戦以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	西暦奇数年度開講。
O2DME30	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2A	2	1.0	1					1930年代以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	2015年度開講せず。
O2DME31	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2B	2	1.0	1					第2次世界大戦以降の日本経済において形成された産業構造、社会制度などの歴史について多角的に検討する。	2015年度開講せず。
O2DME32	グローバル教育論(比較歴史教育)3A	2	1.0	1	秋AB	木2		柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。	西暦奇数年度開講。O2DM108、O2DMQ41と同一。
O2DME33	グローバル教育論(比較歴史教育)3B	2	1.0	1					第二次世界大戦以降の歴史教育に関し、特に大戦に深く関わった国々について、政治的・社会的文脈の変化とともに考察する。	O2DMQ42と同一。2015年度開講せず。
O2DME34	グローバル政治と日本社会(国際人口移動論)3A	2	1.0	1-3	秋AB	火6		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。O2DM272、O2DMQ03と同一。
O2DME35	グローバル政治と日本社会(国際人口移動論)3B	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	O2DMQ04と同一。2015年度開講せず。
O2DME36	グローバル社会と日本(法と国際社会)5A	2	1.0	1	春AB	水6		岡上 雅美	刑法的な観点から、グローバル社会における諸現象を検討する。日本の法体系をまず大まかに概略し、その後、各参加者の関心に応じてテーマを設定し、報告の後に討論を行う。「グローバル社会と日本(法と国際社会)5B」と併せて受講すること。	西暦奇数年度開講。
O2DME37	グローバル社会と日本(法と国際社会)5B	2	1.0	1	春AB	水6		岡上 雅美	刑法的な観点から、グローバル社会における諸現象を検討する。日本の法体系をまず大まかに概略し、その後、各参加者の関心に応じてテーマを設定し、報告の後に討論を行う。「グローバル社会と日本(法と国際社会)5A」と併せて受講すること。	西暦奇数年度開講。O2DMP14と同一。
O2DME38	グローバル社会と日本(法と国際社会)6A	2	1.0	1					刑法的な観点から、グローバル社会における諸現象を検討する。日本の法体系をまず大まかに概略し、その後、各参加者の関心に応じてテーマを設定し、報告の後に討論を行う。「グローバル社会と日本(法と国際社会)6B」と併せて受講すること。	2015年度開講せず。
O2DME39	グローバル社会と日本(法と国際社会)6B	2	1.0	1					刑法的な観点から、グローバル社会における諸現象を検討する。日本の法体系をまず大まかに概略し、その後、各参加者の関心に応じてテーマを設定し、報告の後に討論を行う。「グローバル社会と日本(法と国際社会)6A」と併せて受講すること。	2015年度開講せず。
O2DME40	グローバル社会と日本(法と市民社会)5A	2	1.0	1	春C	応談		根本 信義	社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦奇数年度開講。
O2DME41	グローバル社会と日本(法と市民社会)5B	2	1.0	1	秋C	応談		根本 信義	社会科学の研究者に必要とされる知識を横断的に再整理し、具体的な紛争解決に向けた総合的な法的思考能力の修得を目的として、社会的に問題となった事例や具体的な判例の事案を素材に作成した問題について、受講者全員が事前に解答を用意し、全員で検討しながら授業を進めていく。	西暦奇数年度開講。
O2DME42	グローバル社会と日本(法と市民社会)6A	2	1.0	1					消費貸借契約をめぐる具体的な事例問題の検討を通して、民法の規定が当該事案にどう適用されるのかを理解する。	2015年度開講せず。
O2DME43	グローバル社会と日本(法と市民社会)6B	2	1.0	1					消費貸借契約をめぐる具体的なトラブルについて、実際の訴訟において、どのように主張・立証すべきかを、訴状・答弁書・準備書面の作成などを通じて検討していく。	2015年度開講せず。
O2DME44	グローバル社会と日本(法と現代社会)5A	2	1.0	1	春C	集中		村上 正子	国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	西暦奇数年度開講。
O2DME45	グローバル社会と日本(法と現代社会)5B	2	1.0	1	秋C	集中		村上 正子	国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	西暦奇数年度開講。
O2DME46	グローバル社会と日本(法と現代社会)6A	2	1.0	1					国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	2015年度開講せず。
O2DME47	グローバル社会と日本(法と現代社会)6B	2	1.0	1					国際的な民事事件の法的処理に関する手続的諸問題を判例を通して考察する。	2015年度開講せず。
O2DME48	グローバル社会と日本(比較国際経営論)1A	2	1.0	1	春AB	金2		ポール マルティン	This class will give an introduction to international management, models of internationalization of enterprise and the role of culture in management.	英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DME49	グローバル社会と日本 (比較国際経営論)1B	2	1.0	1	秋AB	金4		ポール マルティン	This class focuses on selected challenges in the international management context such as production, human resources, innovation, and finance.	英語で授業。
O2DME50	グローバル社会と日本 (比較国際経営論)2A	2	1.0	1	春AB	金3		ポール マルティン	This class will give an introduction to international management, models of internationalization of enterprise and the role of culture in management.	O2DMQ35と同一。
O2DME51	グローバル社会と日本 (比較国際経営論)2B	2	1.0	1	秋AB	金3		ポール マルティン	This class focuses on selected challenges in the international management context such as production, human resources, innovation, and finance.	O2DMQ36と同一。
O2DME52	グローバル社会と日本 (企業論)2	1	1.0	1	秋AB	応談			激動のグローバル時代における企業のあり方について事例を交えつつ探る。	
O2DME53	ユーラシア交流A	1	1.0	1 - 3	秋AB	火1		ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives -Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「シルクロード外交」や「中央アジアプラス日本」のイニシアティブに主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 O2DM217, O2DMQ15と同一。 英語で授業。
O2DME54	ユーラシア交流B	1	1.0	1 - 3	秋AB	火2		ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 O2DM218, O2DMQ16と同一。 英語で授業。
O2DME55	ユーラシア交流演習A	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	O2DMQ07と同一。 2015年度開講せず。
O2DME56	ユーラシア交流演習B	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	O2DMQ08と同一。 2015年度開講せず。
O2DME57	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	O2DMQ23と同一。 2015年度開講せず。
O2DME58	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	O2DMQ24と同一。 2015年度開講せず。
O2DME59	ユーラシア世界史演習A	2	1.0	1 - 3	春AB	火1		塩谷 哲史	中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 O2DM281, O2DMQ09と同一。
O2DME60	ユーラシア世界史演習B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火1		塩谷 哲史	中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 O2DM282, O2DMQ10と同一。

国際日本複合研究領域学位プログラム(新国日後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMK01	東アジアの家と社会問題特別授業2	2	1.0	1 - 3	秋学期	集中		津城 寛文	日本を含む東アジアには、儒教精神に基づく家制度、農耕文化に由来する家制度、職業の世襲による家制度、その特殊なものとして家元制度などがある。西洋化、近代化、グローバル化により、それらは変容してきた。この変容と、それらを貫いて持続する家の理念の対比を、それぞれの専門家を招へいして議論する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMK02	現代アジアの家と家庭教育2	2	1.0	1-3					日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	O2DM123, O2DMR02と同一。 2015年度開講せず。
O2DMK03	日本社会と家2A	2	1.0	1-3	春AB	月5		平山 朝治	日本のイエ社会の形成・変容・構造について、他社会と比較しつつ考察する。	西暦奇数年開講。
O2DMK04	日本社会と家2B	2	1.0	1-3					組織原理としての「家」を巡る歴史観や理論を再検討し、一休の思想をみる。	O2DMR08と同一。 2015年度開講せず。
O2DMK05	韓国の家2	2	1.0	1-3	秋AB	木2			韓国社会における家族関係の性質について他文化圏との比較考察を交えつつ学ぶ。	西暦奇数年開講。
O2DMK06	日本の青少年と逸脱行動2	2	3.0	1-3	通年	金3	1E202	土井 隆義	現代の青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容についての研究報告をおこなう。現代の青少年の逸脱行動を社会的に考えるうえで、人間関係に対する彼らの社会的メンタリティの変化は非常に重要な要因となっている。この授業では、いわば人間関係論的な観点から、逸脱行動論の理論的枠組みの再構築に関する研究報告とそれにもとづいたディスカッションによって各自の研究能力の育成を目指す。	2015年度より2年おき開講。 O1DF365, O2DJ211と同一。
O2DMK07	日本と東アジアのコミュニティ2	2	1.0	1-3					国際社会における言語や言説の影響と政治との関係性について考察する。	O2DME08と同一。 2015年度開講せず。
O2DMK08	日本と東アジアのNPO/NGO 2	2	1.0	1-3	春AB	金5		辻中 豊	日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年開講。 O2DJ135, O2DM103, O2DME01, O2DMP02, O2DMQ01と同一。
O2DMK09	日本と東アジアの比較歴史教育3A	2	1.0	1-3	春AB	木2		柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年開講。 O2DM157, O2DMP09と同一。
O2DMK10	日本と東アジアの比較歴史教育3B	2	1.0	1-3					近代国家形成や社会変動と教育の関係について、受講者の研究領域等具体的題材を通じて議論し比較考察する。	O2DMP10と同一。 2015年度開講せず。
O2DMK11	東アジアの政治と歴史2	2	1.0	1-3	秋BC	火6			第二次大戦後の日本の対外政策の展開を、東アジアの国際関係の変動との関連で講義を行う。適宜、重要なトピックスについて教材を配布する。	教室:プロジェクト研究室 榎波多野研究室 O2DME03と同一。
O2DMK12	日本社会と外交3A	2	1.0	1-3	秋AB	火5	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年開講。 O2DJ370, O2DME04, O2DMP07, O2DMQ31と同一。
O2DMK13	日本社会と外交3B	2	1.0	1-3	秋AB	火6	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年開講。 O2DJ371, O2DME05, O2DMP08, O2DMQ32と同一。
O2DMK14	アジア移民社会論3A	2	1.0	1-3	春AB	月6		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年開講。 O2DM271, O2DMP11と同一。
O2DMK15	アジア移民社会論3B	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	O2DMP12と同一。 2015年度開講せず。
O2DML01	日本とアジアの心身教育特別授業2	2	1.0	1-3	春AB	集中		海後 宗男	日本とアジアの心身教育の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	シンポジウムを開き単位化する。 西暦奇数年開講。
O2DML02	アジアと日本における心身論2	2	1.0	1-3	秋AB	木5		佐藤 貢悦	湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年開講。 O2DM124, O2DMR01と同一。
O2DML03	アジア的心身論2	1	1.0	1-3	秋AB	応談			アジア人の心身のありようについて、西洋近代文化の影響を考察しつつ論じる。	O1DR343と同一。
O2DML05	身体とコミュニケーション2	1	1.0	1-3	秋ABC	集中			コミュニケーションにおいて身体のみならず多様な役割について考察・実感することを目指す。	O1DR345と同一。
O2DML06	情報社会・ロボット・身体2	2	1.0	1-3	秋AB	木4		仲田 誠	「情報倫理・ロボット倫理2」に引き続き、人工知能、還元論的情報社会論の問題点について考える。あわせて日本の科学・技術・社会・経済の「閉塞感」について考え、この「閉塞感」を乗り越え、創発・イノベーションを可能にするにはどうしたらよいか考える。日本文化がもっていた「奥行き」をめぐる議論、存在論的・解釈学的情報社会論が提起した世界の多元性の問題などを参照する。博士後期の授業は参考文献などを共同で読みながら議論を重ねるというかたちで行う予定。ロボットについてもとりあげ、「技術と文化・人々の価値観・身体図式との関連」という視点や「コネクショニズム」など反「古典的計算主義(表象主義)」の視点などから問題にする予定。情報倫理、ロボット倫理の問題も取り上げる。	西暦奇数年開講。 O2DM262と同一。
O2DML07	身体と文化2	2	1.0	1	秋AB	月2	5C618	清水 諭	学校、都市、スタジアム、祝祭空間における身体の近代とその変容について、身体とその文化に関する理論書を読み、議論する。	O1EH158と同一。



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DML08	日本古典文化と身体2	2	1.0	1-3					日本人が伝統的に受け継いできた身体的所作についてその文化的意義を学ぶ。	2015年度開講せず。
O2DML09	医療・身体・社会2	2	3.0	1-3	通年	木5	人社A401	奥山 敏雄	医療社会学の代表的な研究および医療社会学に関連する社会学理論の基礎文献を輪読するとともに、各自が設定したテーマに基づいて研究報告と論文作成指導を行う。	2015年度より2年おき開講。 01DF359、02DJ205と同一。
O2DML10	精神医学と心身問題2	2	1.0	1-3					多くの臨床事例から、現代日本が直面しつつある心身の問題とその対策について講義する。	2015年度開講せず。
O2DMM01	日本とアジアのメディア・情報・技術・科学・社会特別授業2	2	1.0	1-3					日本とアジアのメディア・情報・技術・科学・社会の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	2015年度開講せず。
O2DMM02	日本のエンターテインメントと社会経済2	2	1.0	1-3					日本の伝統的なエンターテインメントと社会経済の関係について、DVD視聴やライブ体験をふまえて議論し、知見を深めたい。	2015年度開講せず。
O2DMM03	ソフト・パワーのメディア文化政策2	2	1.0	1-3	秋AB	木5			国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは？本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。 02DMT11と同一。
O2DMM04	比較広告・宣伝論2	2	1.0	1-3					複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	02DMT12と同一。 2015年度開講せず。
O2DMM05	日本社会と映像・メディア・広告2	2	1.0	1-3					戦前戦後の小津安二郎(晩春)の映画や戦中の日本映画(田坂具隆の『5人の斥候兵』など)、稲垣浩、黒澤明などの映画を見ながら、日本人の価値観について考える。日本の悲しみの思想や運命感・無常観などと日本の社会のありかたについて考える。映像の中にこのような価値観、世界観がどのように反映されているか考える。こうした価値観や身体感覚・身体図式が日本の社会・技術・科学のありかたにどう関わってきたかについても考える。西田幾多郎や時枝誠記、木村敏らの場所の倫理それと関連する述語の思想などについても触れる予定。2016年度開講。	02DMT06と同一。 2015年度開講せず。
O2DMM06	比較情報社会2	1	1.0	1-3	春AB	応談		田畑 暁生	各地域・文化圏における情報技術と社会の関わりの差異を考察する。	01DR387と同一。
O2DMM07	情報社会・メディア・図書館	1	2.0	1-3	春AB	木3,4	研究室	後藤 嘉宏	メディア論におけるメディア史の時代区分に焦点を当てて論じる。講義担当者は中井正一のメディア論を研究している。したがってまず授業の前半部分は中井正一のメディア論におけるメディア史の時代区分について、中井の他の側面と照らし合わせながら、講義する。そのあと、アレント、マクルーハン、オング、ベンヤミン、フーコーなどの広い意味でのメディア論・言語論・芸術論におけるメディア史の時代区分との対比のなかで、中井の独自性あるいは限界を浮き彫りにする。授業は主に講義形式で行うが、講義形式での説明の前に、毎回上記論者の邦語邦訳書物を受講者の誰かが一冊読んで報告する。さらに上記論者に関する最新の英語文献、あるいは存命のメディア論者の英語文献をこちらで選び、報告して貰う機会も設ける。それらの部分は演習形式となる。	図書館情報メディア専攻英語プログラム学生からの要望があれば英語で授業 02MA109と同一。
O2DMM08	アジアのCMC 2	1	1.0	1-3	春AB	水3		海後 宗男	本講義は、メディア研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM211、02DMT09と同一。
O2DMM09	アジアのICTs 2	1	1.0	1-3	秋AB	応談			アジアで展開されるICT産業の展望について考察する。	01DR389と同一。
O2DMM10	インターネットと市民社会2	1	1.0	1-3	秋AB	水3		海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM212、02DMT10と同一。 英語で授業。
O2DMM11	日本社会・政治とインターネット2	2	1.0	1-3					地域情報化政策の観点から、社会の情報化について事例を交えて検証する。	2015年度開講せず。
O2DMM12	情報倫理・ロボット倫理2	2	1.0	1-3	春AB	木4		仲田 誠	人工知能、還元論的情報社会論の問題点について考える。あわせて日本の科学・技術・社会・経済の「閉塞感」について考え、この「閉塞感」を乗り越え、創発・イノベーションを可能にするにはどうしたらよいか考える。日本文化がもっていた「奥行き」をめぐる議論、存在論的・解釈学的情報社会論が提起した世界の多元性の問題などを参照する。博士後期の授業は参考文献などを共同で読みながら議論を重ねるというかたちで行う予定。ロボットについてもとりあげ、「技術と文化・人々の価値観・身体図式との関連」という視点から問題にする予定。	西暦奇数年度開講。 02DM261、02DMT05と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMM13	日・アジア・北米インターネット政治論2	2	1.0	1-3	春C	集中		川崎 レスリー タック	The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年度開講。
O2DMM14	日本とアジアの技術・社会イノベーション	1	1.0	1-3					技術的イノベーションがもたらす社会の変容。日本とアジアにおける事例研究である。	2015年度開講せず。
O2DMNO1	アカデミック翻訳特別授業2	2	1.0	1-3	秋C	応談		川崎 レスリー タック	アカデミック翻訳の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	西暦奇数年度開講。
O2DMNO2	翻訳からみた日本と東アジアの文化2	2	1.0	1-3					訳書の文献講読によって見えてくるアジアの文化的差異についての分析を試みる。	西暦奇数年度開講。 2015年度開講せず。
O2DMNO3	日本の精神文化と翻訳2	2	1.0	1-3					日本は漢字を輸入し、それを変形した仮名を創造し、また近代にはヨーロッパ諸語を輸入し、それをおもに漢語で翻訳してきた。二重三重の翻訳により、日本人の精神文化は複雑な言語環境にあり、混乱を内蔵している。そのような事態を再考し、翻訳文化のあり方を、創造的に検討したい。	2015年度開講せず。
O2DMNO4	日本とアジアの相互理解のための翻訳2	2	1.0	1-3	秋C	集中		佐藤 貢悦	日英中の対訳資料を用いて、日本語の特色ならびに相互理解のための翻訳について理解を深める。	西暦奇数年度開講。
O2DMNO6	日本語文法と日本社会2	2	1.0	1-3					文法によって規定される社会の様相とは。言語学的解釈で日本社会を考察する。	2015年度開講せず。
O2DMNO7	日本文学翻訳論	2	1.0	1-3	春AB	木5		平石 典子	日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。 O2DM177, O2DMSO1と同一。
O2DMNO8	言語政策と日本語論2	2	1.0	1-3	春AB	応談		津田 幸男	言語政策に関する是非を検討し、よりよき国際コミュニケーションのあり方について学ぶ。	
O2DMNO9	異文化相互理解のための通訳2	2	1.0	1-3					(Not Offered in the 2015-16 academic year; offered in the 2016-17 academic year.) 異なる国の言葉を短時間に正確にとらえ、伝える通訳という観点から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。	英語で授業。 2015年度開講せず。
O2DMNO10	異文化対話のための翻訳2	2	1.0	1-3	秋C	水3,4		川崎 レスリー タック	異なる国の言葉で書かれた文章を理解するには、語学力のほか、その文化も知らなければならない。文章という対話の形から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。During this course, students will be introduced to the theoretical and practical study of translation. First, we will look at theories about translation (mainly developed with regards to European languages) as well as methods; then we will focus on practical exercises in translation. We will be translating mainly from Japanese into English, however, we may also do English-to-Japanese translation, depending on the linguistic background of the students.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
O2DMP01	グローバル共生社会特別授業2	2	1.0	1	秋AB	集中		潘 亮	グローバル共生社会の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	
O2DMP02	市民社会とガバナンス2	2	1.0	1	春AB	金5		辻中 豊	日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	教室: 共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 O2DJ135, O2DM103, O2DME01, O2DMK08, O2DMQ01と同一。
O2DMP03	比較労働・社会政策3A	2	1.0	1	春AB	水1		田中 洋子	工業化・資本主義化・経済発展の歴史的プロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。	西暦奇数年度開講。 O2DM111と同一。
O2DMP04	比較労働・社会政策3B	2	1.0	1	春C	集中		田中 洋子	各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	西暦奇数年度開講。 O2DM112と同一。
O2DMP05	国際政治と共生3A	2	1.0	1-3	春AB	木6		大友 貴史	This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving various issue areas.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
O2DMP06	国際政治と共生3B	2	1.0	1-3					This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving various issue areas.	英語で授業。 2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMP07	日本の対外関係とグローバル共生3A	2	1.0	1-3	秋AB	火5	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ370、02DME04、02DMK12、02DMQ31と同一。
02DMP08	日本の対外関係とグローバル共生3B	2	1.0	1-3	秋AB	火6	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ371、02DME05、02DMK13、02DMQ32と同一。
02DMP09	教育とグローバル共生社会3A	2	1.0	1-3	春AB	木2		柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。	西暦奇数年度開講。 02DM157、02DMK09と同一。
02DMP10	教育とグローバル共生社会3B	2	1.0	1-3					近代国家形成や社会変動と教育の関係について、受講者の研究領域等具体的題材を通じて議論し比較考察する。	02DMK10と同一。 2015年度開講せず。
02DMP11	多文化共生論3A	2	1.0	1-3	春AB	月6		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。 02DM271、02DMK14と同一。
02DMP12	多文化共生論3B	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	02DMK15と同一。 2015年度開講せず。
02DMP13	東アジアの国際関係と共生社会2	2	1.0	1					国際社会における言語や言説の影響と政治との関係性について考察する。	02DME09と同一。 2015年度開講せず。
02DMP14	グローバル共生社会と法律2	2	1.0	1	春AB	水6		岡上 雅美	刑法的な観点から、グローバル社会における諸現象を検討する。日本の法体系をまず大まかに概略し、その後、各参加者の関心に応じてテーマを設定し、報告の後に討論を行う。「グローバル社会と日本(法と国際社会)5A」と併せて受講すること。	西暦奇数年度開講。 02DME37と同一。
02DMP15	政治とインターネット3A	1	1.0	1-3	春AB	水2		川崎 レスリー タック	The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 02DME12と同一。 英語で授業。
02DMP16	政治とインターネット3B	1	1.0	1-3	秋AB	水2		川崎 レスリー タック	This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 02DME13と同一。 英語で授業。
02DMQ01	日本研究演習1A	2	1.0	1-3	春AB	金5		辻中 豊	日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 02DJ135、02DM103、02DME01、02DMK08、02DMP02と同一。
02DMQ02	日本研究演習1B	2	1.0	1-3					日本研究を政治学・社会科学の立場から行うための方法について演習形式で学習する。日本政治・社会の基本文献を検討するとともに、実証的な研究方法について研究する。	02DJ136、02DME02と同一。 2015年度開講せず。
02DMQ03	日本研究演習2A	2	1.0	1-3	秋AB	火6		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	教室:共同研究棟A604 西暦奇数年度開講。 02DM272、02DME34と同一。
02DMQ04	日本研究演習2B	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	02DME35と同一。 2015年度開講せず。
02DMQ05	日本研究演習3A	2	1.0	1-3	春C夏季休業中	集中			ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ06	日本研究演習3B	2	1.0	1-3	春C夏季休業中	集中			ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ07	ユーラシア地域研究演習1A	2	1.0	1-3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	02DME55と同一。 2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ08	ユーラシア地域研究演習1B	2	1.0	1 - 3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	02DME56と同一。 2015年度開講せず。
02DMQ09	ユーラシア地域研究演習2A	2	1.0	1 - 3	春AB	火1		塩谷 哲史	中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DM281, 02DME59と同一。
02DMQ10	ユーラシア地域研究演習2B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火1		塩谷 哲史	中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DM282, 02DME60と同一。
02DMQ11	ユーラシア地域研究演習3A	2	1.0	1 - 3					The State, Political Institutions and Society in post-Soviet Eurasia. The course focuses on the emergence and development of political institutions of post-Soviet countries within the context of state-building and social transformation. The course traces the creation and unmaking of major political institutions in the newly established states by examining the impact of Soviet legacy, the role of domestic political elites, social actors as well as foreign political dynamics.	英語で授業。 2015年度開講せず。
02DMQ12	ユーラシア地域研究演習3B	2	1.0	1 - 3					The State, Political Institutions and Society in post-Soviet Eurasia. The course focuses on the emergence and development of political institutions of post-Soviet countries within the context of state-building and social transformation. The course traces the creation and unmaking of major political institutions in the newly established states by examining the impact of Soviet legacy, the role of domestic political elites, social actors as well as foreign political dynamics.	英語で授業。 2015年度開講せず。
02DMQ13	ユーラシア地域研究演習4A	2	1.0	1 - 3	春C夏季休業中	集中			ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ14	ユーラシア地域研究演習4B	2	1.0	1 - 3	春C夏季休業中	集中			ユーラシア地域の協定校教員による集中講義である。	
02DMQ15	ユーラシアの国際関係A	1	1.0	1 - 3	秋AB	火1		ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives -Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「シルクロード外交」や「中央アジアプラス日本」のイニシアティブに主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM217, 02DME53と同一。 英語で授業。
02DMQ16	ユーラシアの国際関係B	1	1.0	1 - 3	秋AB	火2		ダダバエフ ティムール	This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM218, 02DME54と同一。 英語で授業。
02DMQ17	ユーラシアの安全保障A	1	1.0	1 - 3	春AB	集中			This intensive course is focused on the analysis of security perception and related political developments in post-Soviet Eurasia. The course covers issues related to national security and security perceptions of post-Soviet states (focus on Russia, Ukraine, Central Asia, South Caucasus), the economic and social concerns, traditional vs. non-traditional approaches to security and the role of external players in shaping the security architecture.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ18	ユーラシアの安全保障B	1	1.0	1 - 3	春AB	集中			This intensive course is focused on the analysis of security perception and related political developments in post-Soviet Eurasia. The course covers issues related to national security and security perceptions of post-Soviet states (focus on Russia, Ukraine, Central Asia, South Caucasus), the economic and social concerns, traditional vs. non-traditional approaches to security and the role of external players in shaping the security architecture.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。
02DMQ19	ユーラシアの経済A	2	1.0	1	春AB	水5	田中 洋子		参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。	教室:図書館セミナー室 西暦奇数年度開講。 02DM161, 02DME18と同一。
02DMQ20	ユーラシアの経済B	2	1.0	1	春C	集中	田中 洋子		各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	教室:図書館セミナー室 西暦奇数年度開講。 02DM162, 02DME19と同一。
02DMQ21	ユーラシアの言語政策A	2	1.0	1 - 3	春AB	集中			ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて 検討・考察する。	
02DMQ22	ユーラシアの言語政策B	2	1.0	1 - 3	秋AB	集中			ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて 検討・考察する。	
02DMQ23	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	02DME57と同一。 2015年度開講せず。
02DMQ24	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	02DME58と同一。 2015年度開講せず。
02DMQ25	ユーラシア文化論A	2	1.0	1 - 3					ユーラシア文化に関する研究文献を講読し、演習形式でその内容を議論する。	2015年度開講せず。
02DMQ26	ユーラシア文化論B	2	1.0	1 - 3					ユーラシア文化に関する研究文献を講読し、演習形式でその内容を議論する。	2015年度開講せず。
02DMQ27	国際政治学1A	2	1.0	1	春AB	金3	川崎 レスリー タック		The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	教室:8A107 西暦奇数年度開講。 02DME10と同一。 英語で授業。
02DMQ28	国際政治学1B	2	1.0	1	春AB	金4	川崎 レスリー タック		The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	教室:8A107 西暦奇数年度開講。 02DME11と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ29	国際政治学2A	2	1.0	1 - 3	春AB	応談			This course aims to provide students with a critical understanding of public policy, administration and management in the developing world within the context of globalization. Combining elements of political science, international relations, development studies, economics, ethics and other disciplines, it examines concepts of power, government and governance; the major theories, approaches and issues in public policy and administration/management; development administration/ management; and the process of public policy formulation, implementation and evaluation. The course tackles such aspects of public administration/management as the bureaucracy; development planning; public financial management; administrative reform; public enterprise reform; decentralization; and participation. Special attention will be devoted to such topics as "new public management"; "good governance"; the role of civil society in governance; corruption and anti-corruption; and governance and globalization. The course will be taught in English.	教員:キンボ ネイサン ギルバート 英語で授業。
02DMQ30	国際政治学2B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談			This course aims to provide students with a critical understanding of public policy, administration and management in the developing world within the context of globalization. Combining elements of political science, international relations, development studies, economics, ethics and other disciplines, it examines concepts of power, government and governance; the major theories, approaches and issues in public policy and administration/management; development administration/ management; and the process of public policy formulation, implementation and evaluation. The course tackles such aspects of public administration/management as the bureaucracy; development planning; public financial management; administrative reform; public enterprise reform; decentralization; and participation. Special attention will be devoted to such topics as "new public management"; "good governance"; the role of civil society in governance; corruption and anti-corruption; and governance and globalization. The course will be taught in English.	教員:キンボ ネイサン ギルバート 英語で授業。
02DMQ31	日本対外関係論A	2	1.0	1 - 3	秋AB	火5	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ370, 02DME04, 02DMK12, 02DMP07と同一。
02DMQ32	日本対外関係論B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火6	3K219	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP08と同一。
02DMQ33	国際関係論A	2	1.0	1	春AB	木5		大友 貴史	The aim of this course is to study the main theories of international relations.	教室:共同研究棟A601 西暦奇数年度開講。 02DME06と同一。 英語で授業。
02DMQ34	国際関係論B	2	1.0	1					The aim of this course is to study the main theories of international relations.	02DME07と同一。 英語で授業。 2015年度開講せず。
02DMQ35	国際経営学1A	2	1.0	1	春AB	金3		ポール マルティン	This class will give an introduction to international management, models of internationalization of enterprise and the role of culture in management.	02DME50と同一。
02DMQ36	国際経営学1B	2	1.0	1	秋AB	金3		ポール マルティン	This class focuses on selected challenges in the international management context such as production, human resources, innovation, and finance.	02DME51と同一。
02DMQ37	国際経営学2A	2	1.0	1 - 3					This class will give an introduction to international management, models of internationalization of enterprise and the role of culture in management.	2015年度開講せず。
02DMQ38	国際経営学2B	2	1.0	1 - 3					This class focuses on selected challenges in the international management context such as production, human resources, innovation, and finance.	2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ39	国際協力論A		2	1.0	1 - 3				国際連合は平和に関する国際協力をするための機関である。変動する国際社会における、国際的紛争に対して、国連がどのようにして国際協力をし、紛争の予防と解決、平和の創造、構築、維持をするのかを考察する。実際のケースを審議しながら、国連平和に関する機能の仕組みを学ぶ。さらには、国連がより良い国際協力をするには、どのような課題とチャレンジがあるのかを、論議する。	2015年度開講せず。
02DMQ40	国際協力論B		2	1.0	1 - 3				国際連合は平和に関する国際協力をするための機関である。変動する国際社会における、国際的紛争に対して、国連がどのようにして国際協力をし、紛争の予防と解決、平和の創造、構築、維持をするのかを考察する。実際のケースを審議しながら、国連平和に関する機能の仕組みを学ぶ。さらには、国連がより良い国際協力をするには、どのような課題とチャレンジがあるのかを、論議する。	2015年度開講せず。
02DMQ41	教育政策論A		2	1.0	1	秋AB	木2	柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。	西暦奇数年度開講。02DM108、02DME32と同一。
02DMQ42	教育政策論B		2	1.0	1				第二次世界大戦以降の歴史教育に関し、特に大戦に深く関わった国々について、政治的・社会的文脈の変化とともに考察する。	02DME33と同一。2015年度開講せず。
02DMQ43	日本語教育学A		2	1.0	1	春AB	金3	小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦奇数年度開講。02DMW13と同一。
02DMQ44	日本語教育学B		2	1.0	1	秋AB	金3	小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	西暦奇数年度開講。02DMW14と同一。

国際日本文科学学位プログラム(新国日後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMR01	比較東洋思想3A		2	1.0	1 - 3	秋AB	木5	佐藤 貢悦	湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM124、02DML02と同一。
02DMR02	比較東洋思想3B		2	1.0	1 - 3				日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DM123、02DMK02と同一。2015年度開講せず。
02DMR03	日本社会と宗教3A		2	1.0	1 - 3	春AB	火4	津城 寛文	奇数年度(A)は、「宗教と社会」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と他界」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求める。	西暦奇数年度開講。
02DMR04	日本社会と宗教3B		2	1.0	1 - 3				奇数年度(A)は、「宗教と社会」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と他界」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求める。	2015年度開講せず。
02DMR05	朝鮮半島と日中の思想文化2A		2	1.0	1 - 3	春AB	木2		朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	西暦奇数年度開講。
02DMR06	朝鮮半島と日中の思想文化2B		2	1.0	1 - 3				朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	2015年度開講せず。
02DMR07	日本文化と経済思想3A		2	1.0	1 - 3	秋AB	月5	平山 朝治	日本神話や天皇制のなかに分権的社会経済を支える自由主義の伝統をさぐる。	西暦奇数年度開講。
02DMR08	日本文化と経済思想3B		2	1.0	1 - 3				組織原理としての「家」を巡る歴史観や理論を再検討し、一体の思想をみる。	02DMK04と同一。2015年度開講せず。
02DMS01	比較日本文学論1A		2	1.0	1 - 3	春AB	木5	平石 典子	日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM177、02DMN07と同一。
02DMS02	比較日本文学論1B		2	1.0	1 - 3	秋AB	木5	平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。02DM178と同一。
02DMS03	比較日本文学論2A		2	1.0	1 - 3				比較文学・文化の手法を用いて、日本文学を考察する。	2015年度開講せず。
02DMS04	比較日本文学論2B		2	1.0	1 - 3				比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	2015年度開講せず。
02DMS05	比較日本文学論3A		1	1.5	1 - 3	春ABC	木2	1C304 加藤 百合	明治以降の文学テキストおよび文学論、文学論争、回想記、雑誌記事等を読み、各自の研究対象とする時期の文学状況を再現的に研究する。	2015年度より4年おき開講。02DS175と同一。
02DMS06	比較日本文学論3B		2	1.5	1 - 3	秋ABC	木2	1C304 加藤 百合	演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。	2015年度より4年おき開講。02DS180と同一。
02DMS09	比較日本文化論1A		2	1.0	1 - 3	春AB	水6	石塚 修	日本文化について茶の湯文化を中心に知識と理解を深める。	西暦奇数年度開講。02DM115と同一。
02DMS10	比較日本文化論1B		2	1.0	1 - 3	秋AB	水6	石塚 修	日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。02DM116と同一。
02DMS11	比較日本文化論2A		2	1.0	1 - 3				日本文学の古典作品を通じて、日本の年中行事についての知識と理解をふかめる。	2015年度開講せず。
02DMS12	比較日本文化論2B		2	1.0	1 - 3				日本の年中行事を取りあげた文学作品を読むこととおして、日本文化の特性について理解を深める。	2015年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMT01	映像メディア交流A	1	1.0	1-3	春AB	火1		今泉 容子	映画は文化や社会をストレートに描き出す。東西の文化圏の映画を比較考察し、そうしたグローバルな視点に立って、受講生各人が研究対象とする国・民族の独自性を解明する。映画を分析するスキルも習得する。	西暦奇数年度開講。O2DM207と同一。
O2DMT02	映像メディア交流B	1	1.0	1-3	秋AB	火1		今泉 容子	映画は文化や社会をストレートに描き出す。東西の文化圏の映画を比較考察し、そうしたグローバルな視点に立って、受講生各人が研究対象とする国・民族の独自性を解明する。映画を分析するスキルも習得する。	西暦奇数年度開講。O2DM208と同一。
O2DMT03	映像メディア交流演習A	2	1.0	1-3					映画における「文化」「社会」「市民(男・女)」の表象を分析する。そのさい、映画の原作(文学)を視野に入れると同時に、映画の「読みかた」も学ぶ。	O2DM257と同一。2015年度開講せず。
O2DMT04	映像メディア交流演習B	2	1.0	1-3					映画における「文化」「社会」「市民(男・女)」の表象を分析する。そのさい、映画の原作(文学)を視野に入れると同時に、映画の「読みかた」も学ぶ。	O2DM258と同一。2015年度開講せず。
O2DMT05	メディア文化・情報社会研究A	2	1.0	1-3	春AB	木4		仲田 誠	人工知能、還元論的情報社会論の問題点について考える。あわせて日本の科学・技術・社会・経済の「閉塞感」について考え、この「閉塞感」を乗り越え、創発・イノベーションを可能にするにはどうしたらよいか考える。日本文化がもっていた「奥行き」をめぐる議論、存在論的・解釈学的情報社会論が提起した世界の多元性の問題などを参照する。博士後期の授業は参考文献などを共同で読みながら議論を重ねるといふかたちで行う予定。ロボットについてもとりあげ、「技術と文化・人々の価値観・身体図式との関連」という視点から問題にする予定。	西暦奇数年度開講。O2DM261、O2DM112と同一。
O2DMT06	メディア文化・情報社会研究B	2	1.0	1-3					戦前戦後の小津安二郎(晩春)の映画や戦中の日本映画(田坂具隆の『5人の斥候兵』など)、福田浩、黒澤明などの映画を見ながら、日本人の価値観について考える。日本的悲しみの思想や運命感・無常観などと日本的社会的ありかたについて考える。映像の中にこのような価値観、世界観がどのように反映されているか考える。こうした価値観や身体感覚・身体図式が日本の社会・技術・科学のありかたにどう関わってきたかについても考える。西田幾多郎や時枝誠記、木村敏らの場所の倫理それと関連する述語の思想などについても触れる予定。2016年度開講。	O2DM05と同一。2015年度開講せず。
O2DMT07	国際ジャーナリズム論2A	2	1.0	1-3	春AB	金6		福原 直樹	全国紙で事件記者と海外特派員(ジュネーブ、ブリュッセル、パリ)をそれぞれ15年間務めた教員の経験をもとに、まずは現場から見た日本の報道一般/国際報道の基本的な問題点を考えていきたい。そのうえで、海外(主に欧米)メディアによる国際報道にも視野を広げ、欧米著名ジャーナリストによる労作も読み解く。	
O2DMT08	国際ジャーナリズム論2B	2	1.0	1-3	秋AB	応談		福原 直樹	全国紙で事件記者と海外特派員(ジュネーブ、ブリュッセル、パリ)をそれぞれ15年間務めた教員の経験をもとに、まずは現場から見た日本の報道一般/国際報道の基本的な問題点を考えていきたい。そのうえで、海外(主に欧米)メディアによる国際報道にも視野を広げ、欧米著名ジャーナリストによる労作も読み解く。	
O2DMT09	メディア社会研究2A	1	1.0	1-3	春AB	水3		海後 宗男	本講義は、メディア研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。O2DM211、O2DM08と同一。
O2DMT10	メディア社会研究2B	1	1.0	1-3	秋AB	水3		海後 宗男	本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。O2DM212、O2DM110と同一。英語で授業。
O2DMT11	メディア思想と日本社会2A	2	1.0	1-3	秋AB	木5			国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは? 本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。O2DM03と同一。
O2DMT12	メディア思想と日本社会2B	2	1.0	1-3					複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	O2DM04と同一。2015年度開講せず。

日本語教育学学位プログラム(新国日後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMW01	教材分析演習1A	2	1.0	1	春AB	水1		今井 新悟	既存の教材を概観し、実際の教材を作る。筑波大学『なるほど』(教科書)とその副教材を作る。eラーニング教材も作る。教授法について考える。	西暦奇数年度開講。



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW02	教材分析演習1B	2	1.0	1	秋AB	水1		今井 新悟	既存の教材を概観し、実際の教材を作る。筑波大学『なるほど』(教科書)とその副教材を作る。eラーニング教材も作る。教授法について考える。	西暦奇数年度開講。
02DMW03	教材分析演習2A	2	1.0	2					既存の教材を概観し、実際の教材を作る。筑波大学『なるほど』(教科書)とその副教材を作る。eラーニング教材も作る。教授法について考える。	2015年度開講せず。
02DMW04	教材分析演習2B	2	1.0	2					既存の教材を概観し、実際の教材を作る。筑波大学『なるほど』(教科書)とその副教材を作る。eラーニング教材も作る。教授法について考える。	2015年度開講せず。
02DMW05	第2言語習得研究演習1A	2	1.0	1	春AB	木2		加納 千恵子	これからの日本語教育を考える上での視点として、第2言語習得研究について概観し、特に語彙習得について、その研究方法、資料収集の方法などについて受講生とともに考えていく。	迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルクを参考に、受講生の研究テーマに沿って演習を行う。 西暦奇数年度開講。
02DMW06	第2言語習得研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	木2		加納 千恵子	これからの日本語教育を考える上での視点として、第2言語習得研究について概観し、特に語彙習得について、その研究方法、資料収集の方法などについて受講生とともに実践していく。	春学期「02DMW05 第2言語習得研究演習1A」を履修していることが望ましい。 西暦奇数年度開講。 迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルクをテキストとして使うので、各自用意しておくこと。
02DMW07	第2言語習得研究演習2A	2	1.0	2					これからの日本語教育を考える上での視点として、第2言語習得研究について概観し、特に漢字の習得について、その研究方法、資料収集の方法などについて受講生とともに考えていく。	1年次に「02DMW05 第2言語習得研究演習1A」および「02DMW06 第2言語習得研究演習1B」を履修している学生には、第2言語習得研究の概要を発表してもらう。 2015年度開講せず。 迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルクをテキストとして使うので、各自用意しておくこと。
02DMW08	第2言語習得研究演習2B	2	1.0	2					これからの日本語教育を考える上での視点として、第2言語習得研究について概観し、特に漢字の習得について、その研究方法、資料収集の方法などについて、受講生とともに実践していく。	春学期「02DMW07 第2言語習得研究演習2A」を履修していることが望ましい。 2015年度開講せず。 迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルクをテキストとして使うので、各自用意しておくこと。
02DMW09	日本語教育評価演習1A	2	1.0	1	春AB	月5		酒井 たか子	日本語学習者の日本語の評価について、実際のテスト作成等を通して考える。	西暦奇数年度開講。
02DMW10	日本語教育評価演習1B	2	1.0	1	秋AB	月5		酒井 たか子	日本語学習者の日本語の評価について各自のテーマを発展させる。	西暦奇数年度開講。
02DMW11	日本語教育評価演習2A	2	1.0	2					2015年度は開講せず	2015年度開講せず。
02DMW12	日本語教育評価演習2B	2	1.0	2					2015年度は開講せず	2015年度開講せず。
02DMW13	言語文化研究演習1A	2	1.0	1	春AB	金3		小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	西暦奇数年度開講。 02DMQ43と同一。
02DMW14	言語文化研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	金3		小野 正樹	日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	西暦奇数年度開講。 02DMQ44と同一。
02DMW15	言語文化研究演習2A	2	1.0	2					日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	2015年度開講せず。
02DMW16	言語文化研究演習2B	2	1.0	2					日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	2015年度開講せず。
02DMW17	言語表現研究演習1A	2	1.0	1	春AB	水2		木戸 光子	日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
O2DMW18	言語表現研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	水2		木戸 光子	日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	西暦奇数年度開講。
O2DMW19	言語表現研究演習2A	2	1.0	2					日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	2015年度開講せず。
O2DMW20	言語表現研究演習2B	2	1.0	2					日本語教育に関連の深い文章・談話研究の文献を講読し、文章・談話に関する知見を深める。関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。	2015年度開講せず。
O2DMW21	社会言語研究演習1A	2	1.0	1	春AB	月6		ブッシュネル ケード コンラン	会話分析とエスノグラフィーの相性の有無について論じる研究や、会話分析とエスノグラフィーの手法を併用する「マイクロエスノグラフィー」の研究を取りあげる。受講生はマイクロエスノグラフィーの手法を用いた研究プロジェクトを行って、最後にレポートにまとめる。	共同利用棟(人社棟の裏にある新しいプレファブの建物)の103bにて開講。 西暦奇数年度開講。 奇数年の春ab、月6
O2DMW22	社会言語研究演習1B	2	1.0	1	秋AB	月6		ブッシュネル ケード コンラン	第2言語習得研究のための会話分析(CA for SLA)やエスノメソドロジー、会話分析による第2言語の使用に関する研究を取り上げる。受講生はデータ収集をし研究プロジェクトを行う。これを最後にレポートにまとめる。	共同利用棟(人社棟の裏にある新しいプレファブの建物)の103bにて開講。 西暦奇数年度開講。 奇数年の秋ab、月6
O2DMW23	社会言語研究演習2A	2	1.0	2					成員カテゴリー化分析などインタラクションにおけるアイデンティティを見る研究を取り上げる。受講生はデータを収集し研究プロジェクトを行う。最後にレポートにまとめる。	共同利用棟(人社棟の裏にある新しいプレファブの建物)の103bにて開講。 2015年度開講せず。 偶数年の春ab、月6
O2DMW24	社会言語研究演習2B	2	1.0	2					エスノメソドロジーや会話分析、成員カテゴリー化分析、マイクロエスノグラフィーなどの応用。シークエンス・カテゴリー分析を用いて、それぞれの受講生が提供するデータを見ていく。	共同利用棟(人社棟の裏にある新しいプレファブの建物)の103bにて開講。 2015年度開講せず。 偶数年の秋ab、月6
O2DMW25	対照言語学演習1A	2	1.0	1	春AB	金2		許 明子	日本語と他の外国語の比較を通して、日本語の特徴を明らかにし、日本語教育への応用について考える。	西暦奇数年度開講。
O2DMW26	対照言語学演習1B	2	1.0	1	秋AB	金2		許 明子	日本語と外国語の対照言語学に関連する論文を読み、日本語教育への応用の可能性について議論する。	西暦奇数年度開講。
O2DMW27	対照言語学演習2A	2	1.0	2					日本語と他の外国語との比較を通して日本語の特徴を知り、日本語教育への応用を考える。	2015年度開講せず。
O2DMW28	対照言語学演習2B	2	1.0	2					日本語と他の外国語との対照研究に関連する論文を読み、分析を行ったうえで、対照研究に関連する論文を執筆することができる。	2015年度開講せず。
O2DMW29	日本語教育プログラム演習1A	2	1.0	1	春AB	水3		国際日本研究専攻 全教員	日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	
O2DMW30	日本語教育プログラム演習1B	2	1.0	1	秋AB	水3		国際日本研究専攻 全教員	日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	
O2DMW31	日本語教育プログラム演習2A	2	1.0	2	春AB	水4		国際日本研究専攻 全教員	学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	
O2DMW32	日本語教育プログラム演習2B	2	1.0	2	秋AB	水4		国際日本研究専攻 全教員	大学院生が、各自の研究発表を行う。	
O2DMW33	日本語教育プログラム演習3A	2	1.0	3	春AB	水4		国際日本研究専攻 全教員	学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	
O2DMW34	日本語教育プログラム演習3B	2	1.0	3	秋AB	水4		国際日本研究専攻 全教員	大学院生が、各自の研究発表を行う。	
O2DMW35	世界の日本語教育学1	1	1.0	1-3	通年	集中			各地における日本語教育の現状とその成果について学ぶ。	教員後日通知。
O2DMW36	世界の日本語教育学2	1	1.0	1-3	通年	集中			各地における日本語教育の現状とその成果について学ぶ。	教員:福原直樹
O2DMW37	相互行為分析研究1A	2	1.0	1	春AB	金4		高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 O2DH491と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW38	相互行為分析研究1B	2	1.0	1	秋AB	金4		高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DH492と同一。
02DMW39	相互行為分析研究2A	2	1.0	2					会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	02DH493と同一。 2015年度開講せず。
02DMW40	相互行為分析研究2B	2	1.0	2					会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	02DH494と同一。 2015年度開講せず。
02DMW41	日常会話のエスノグラフィー1A	2	1.0	1	春AB	木4		井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかになってきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DH487と同一。
02DMW42	日常会話のエスノグラフィー1B	2	1.0	1	秋AB	木4		井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかになってきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DH488と同一。
02DMW43	日常会話のエスノグラフィー2A	2	1.0	2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかになってきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	02DH489と同一。 2015年度開講せず。
02DMW44	日常会話のエスノグラフィー2B	2	1.0	2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかになってきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	02DH490と同一。 2015年度開講せず。